

みずほCustomer Desk Report 2022/08/12 号 (As of 2022/08/10)

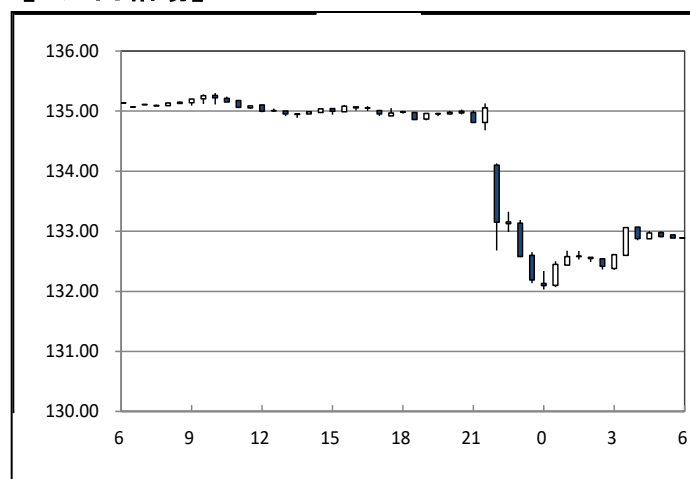
【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	135.28 AUD/USD
TKY 9:00AM	135.21	1.0207	138.03	1.2072	0.6954
SYD-NY High	135.30	1.0369	138.50	1.2277	0.7109
SYD-NY Low	132.03	1.0202	136.63	1.2066	0.6947
NY 5:00 PM	132.89	1.0299	136.88	1.2217	0.7082

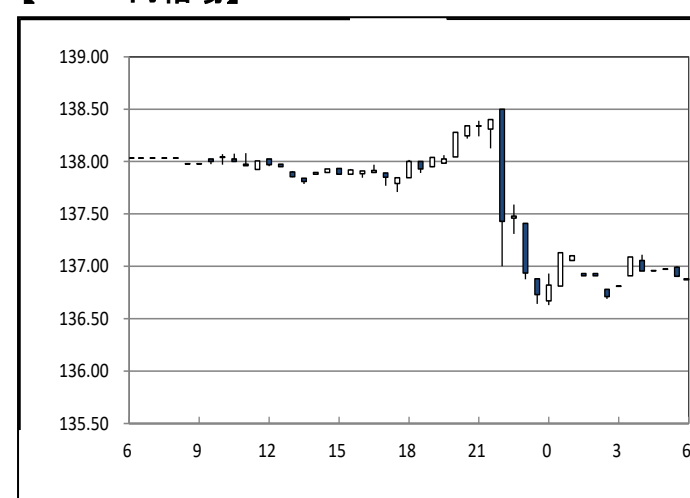
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33309.51	535.10	日本2年債	▲0.1000%	0.0000%
NASDAQ	12854.81	360.88	日本10年債	0.1900%	0.0300%
S&P	4210.24	87.77	米国2年債	3.2193%	▲0.0462%
日経平均	27819.33	▲180.63	米国5年債	2.9259%	▲0.0332%
TOPIX	1933.65	▲3.37	米国10年債	2.7837%	0.0064%
シカゴ日経先物	28135.00	295.00	独10年債	0.8835%	▲0.0370%
ロンドンFT	7507.11	18.96	英10年債	1.9530%	▲0.0185%
DAX	13700.93	165.96	豪10年債	3.2380%	0.0480%
ハンセン指数	19610.84	▲392.60	USDJPY 1M Vol	9.99%	▲0.35%
上海総合	3230.02	▲17.41	USDJPY 3M Vol	10.22%	▲0.28%
NY金	1813.70	1.40	USDJPY 6M Vol	9.89%	▲0.19%
WTI	91.93	1.43	USDJPY 1M 25RR	▲0.52%	Yen Call Over
CRB指数	289.27	4.73	EURJPY 3M Vol	11.27%	▲0.41%
ドルインデックス	105.20	▲1.18	EURJPY 6M Vol	11.11%	▲0.33%

東京	東京時間のドル円は135.21レベルでオープン。お盆を前に5・10日の実需のドル買いもあり仲値かけてドル円は135.30まで上昇。しかしその後は本日発表される米7月CPIを控えポジション調整の売りもあり134.89まで下落も、終始レンジ内での推移となり135.08レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	本日ロンドン市場ドル円は135.08レベルでオープン。米消費者物価指数の発表を控え様子見ムード。ポジション調整にドルが売られるも、28銭以内の小幅推移となり、134.81レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は135円台前半でスタート。東京時間ではコトー日で実需のドル買いが進み、135.30まで上昇するも、米7月CPIの発表前のため、更なる上値追いは限られた。その後ポジション調整のドル売りが入り、134.80まで下落後、134.81レベルでNYオープン。朝方の米7月CPI発表では総合指数とコア指数、双方が市場の事前予想を下回り、利上げペース減速の見方から米株高・債券高とともにドル売りで反応し132.68まで急落。その後133.30近辺まで戻す場面もあったが、ドル売りが再開すると132.03まで下押し。しかし、エハンス・シカゴ連銀総裁が米景気に対して楽観的な見方を示しつつもインフレは容認できないほど高いと述べたことから米金利は下げ幅を縮小し、ドル円も132円台半ばまで買い戻された。午後は好調な米10年債入札結果を受けて米金利が一時低下する場面もあったが、その後シカゴ・ミネアポリス連銀総裁の「インフレとの戦い、勝利宣言には程遠い」、「リセッションでも構わず2%インフレ目標を目指す」などの発言が伝わり、利上げペース減速の見方が後退し、ドルの買い戻しが継続。一時133円まで回復。終盤は小幅反落し、結局、132.89レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.02台前半での動き乏しい推移でスタート。その後、米CPI前のポジション調整の売りが先行し、一時1.0261まで上昇後、1.0259レベルでNYオープン。朝方は米CPIの結果を受けて50日移動平均線(1.0347)を上抜け、一時1.0369まで上昇。午後はドルの買い戻し優勢で1.0295まで反落。結局、1.0299レベルでクロス。

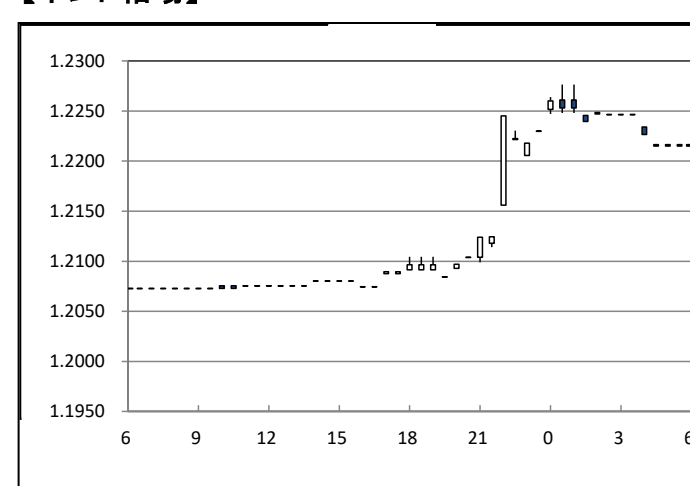
【ドル円相場】



【ユーロ円相場】

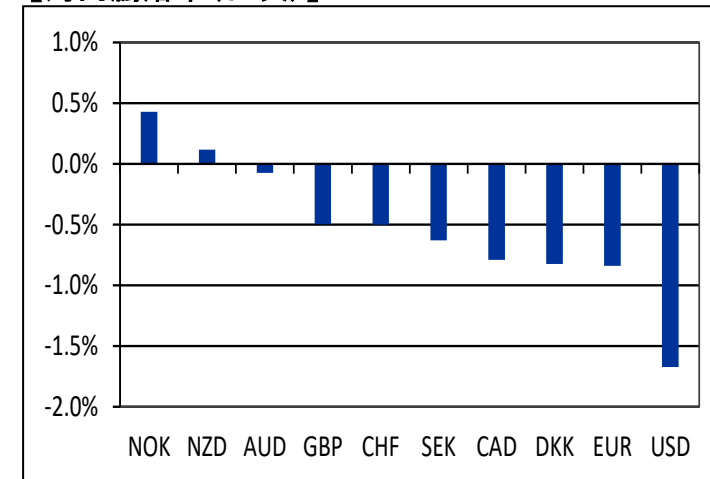


【ポンド相場】

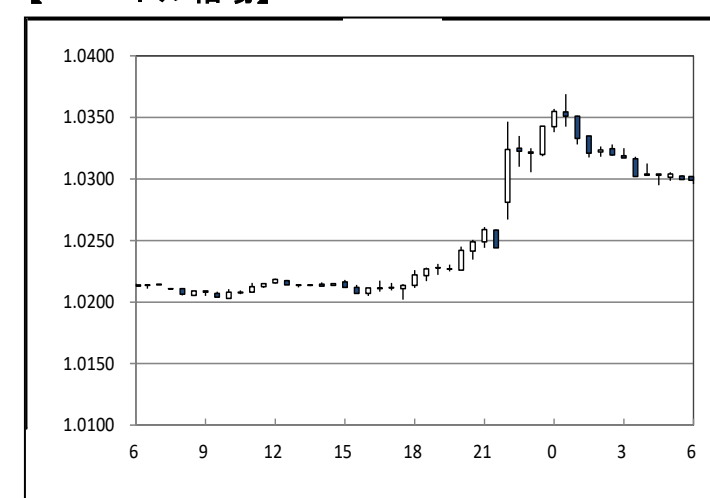


市場営業部 為替営業第二チーム

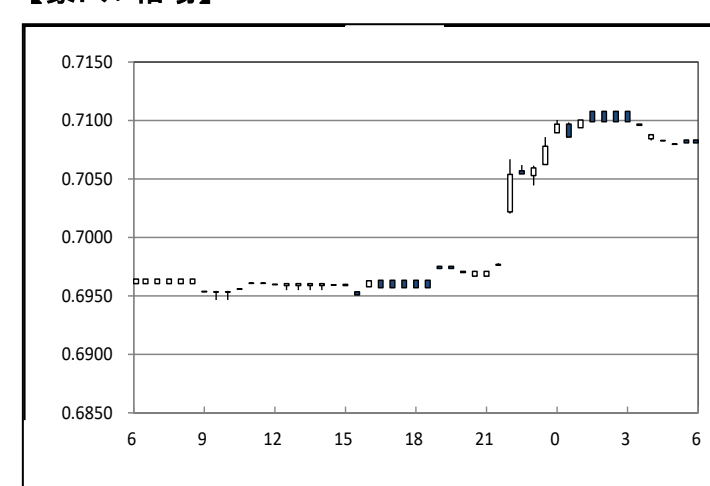
【対円騰落率(日次)】



【ユーロドル相場】



【豪ドル相場】



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。